

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアには取り組んでいるが、安全を優先と考え玄関の施錠を行っている。	利用者の安全を確保しつつ、入居者様の行動を阻害しないで閉塞感のない自由な暮らしを支援していく。	まずは、スタッフの見守りが強化できる時間帯にエレベーターホールの入口の開錠をする。エレベーターホールに机を置き広い空間を活用する。“ここあ〜る(放課後等デイサービス)”の児童との交流やお茶を飲んで一息できるような時間を過ごして頂く。	3ヶ月
2	35	定期的な消防訓練や自主点検を実施していくと共に非常災害時に備えて水や食料品などの備蓄ができていない。	夜間を想定した避難訓練を実施し、防火管理者による月1回の自主点検を強化し安全な暮らしを守っていく。	早急に施設ごとに水や食料品の備蓄を行います。	3ヶ月
3	33	ご家族様に対して重度化や終末期に向けた方針の説明を行ったが、看取りについてのマニュアル作成ができていない。	入居者様、スタッフが共に生き、安心できる暮らしが継続できるよう入居者様、スタッフの不安感を取り除いていきます。	各入居者様1人1人の人生観を知り、その事をスタッフがしっかり理解する。誰もが起こる人生の終末期に向けての支援、看取り介護に関する研修を行う。	6ヶ月
4	4	運営推進会議が定期的に行われていない。会議の内容も模索している段階で目標や意義が明確でない。	定期的な実施を行い、グループホーム寿の運営推進だけでなく、地域の方々との交流の場としても発展していけるような取り組みを行い地域の一員としての役割を担っていきます。	他方面(地域に住む方々、学校、保育園の先生、消防士、銀行員、地域で働く人々)にも声をかけ、地域密着型施設としての関わり方を再検討し、出席者が参加意義を見出せるような会議にしていく。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。